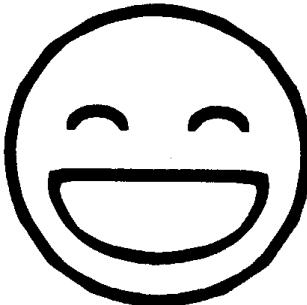


HSK 每月一〇回 (一、三、五、八、一〇、一五、二十、二三、二五、二八日) 発行
一九九四年八月四日第3種郵便物承認

HSK

N P O 法人「文福」ニュース *



「障」ちゃん

*

NO.307

冒頭の一言

新年あけましておめでとうございます。昨年も文福に多くの方々から沢山のお力添えを頂き、本当にありがとうございました。

1月は、1年の始まりとして気持ちが少し明るくなる時期でもあります。

今年は日々の小さな一步を積み重ねながら、無理のないペースで着実に少しずつでも前に進んでいけたらと思っています。皆さんと一緒に、穏やかで有意義な時間を重ねていければと思っています。

本年が皆さんにとられて健やかで心豊かな一年となりますよう、心よりお祈りいたします。どうぞ今年もよろしくお願ひいたします。 Kaokao

一もくじ一

冒頭の一言 … 1 新年のご挨拶 … 2

障害者スタッフプレゼンテーション報告④ … 3 – 5

11月11日障害者部会報告 … 6 Penko … 7

ありがとうコーナー … 8

新年のご挨拶

N P O 法人文福 副理事長 吉田健太

久しぶりに書かせてもらっています。吉田健太です。

皆様、無事に新年を迎えることが出来そうでしょうか？または新年を迎えることができていますでしょうか？

2025年は紆余曲折、色々ありましたが、体感としてはあっという間でした。良くも悪くも生きていれば様々な問題が発生してきます。それらを踏まえながらあるいは乗り越えながらやっていきたいものだと思う今日この頃。

こんな風に思うのは自分も歳をとったからだろうなあとしみじみ思いますが、ぼちぼち無理なくやっていくしかない、そう思います。

文福では今年度は研修会やイベント、活動などは変わらずできたとは思います。と同時に残念ながら計画通りにはできなかった部分もあります。来年度に向けてそれらの部分の反省や今後継続してやっていくこと、変化する部分などを一つ一つ振り返りながら、確認しながら、やっていければと思ってあります。

文福一同、前を向いて今後も進んでいきたいなあ。そんな気持ちです。

皆様方、今後とも何卒文福を宜しくお願い致します。

最後に、明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

※おことわり

今回は諸事情により、副理事長に原稿をお願いしました。

障害者スタッフプレゼンテーション報告④

福田 文恵

近年思うことは、年齢を重ねるごとに気力・体力の低下に伴い、持続力・

集中力が伴わなくかなりしんどくなってきました。

そんな中でのヘルパーとのかかわりは、元々色々な人に関わってもら
いながらの生活をしてきました。

地域生活を始めた頃の 30 代は、大学生がほぼ支援に関わってもらって
いたので、付き合うのが苦にはならなかったのですが 50, 60 代になって
くると、親子くらいの年代差があるので、どうしても話についていけそう
になく（相手もそうだと思いますが）何を話して良いのか解らず会話が成
り立たなくなっていくのが自分でもおかしいくらいです。

かといって、40 代以降のヘルパーさんと話が合うかと言えば、合うこ
とが多いのですが、問題になってくるのが体力的なことです。（私も体力
がなくなってきたている）

この擦り合わせが最近特に難しいなと思っています。

資格のある方で高齢者施設での介護をされていた方は、どうしても時
間で動かれるように長年働いて来られた癖とかがあります。

私たちみたいに、時間から時間の生活ではない者としては、とってもやりにくいです。（相手もそうだと思う）

無資格の人や資格を持っていても幅広い考え方をされる人は、人に合わせるということが出来ると私は思っています。

現在、制度的に資格を得なければこの仕事ができないという現実がありますが、やはり昔から思っていることは、資格の有無ではなく人間性だと思います。

だからと言って、誰とでも付き合える訳はなく、どちらかが歩み寄るかしないと私の生活が成り立たなくなる。

今後もこの生活を続ける限り、付き合い方など考えるのが課題になるでしょう。

最後に一言！ 本当の私は、人と付き合うのが苦手です。

【感想】

・介助者は、完全なプライベート空間に入り込むことを忘れず、あくまでもご本人のやり方、思いが中心にあること、お互いに信頼関係が大事だと思いました。

・距離が近い分、関わり方が分からなくなったり間違えたりする時があるので、擦り合わせの難しさを感じます。

それは、どの利用者さんも一緒なのだろうなと思いました。

・ヘルパーと障がいのある方とのジェネレーションギャップは、自分も感じる事が、多々ありました。興味なく終わるのではなく、質問したりとかして会話のキャッチボールをしっかりできたら、お互いここちよく過ごせるのではと感じました。

出来ない事やわからない事はしっかり伝えるというのは、本当に大切だと実感しています。自分のキャバをこえる事をいきなりやっても、良い結果にはならないと思うからです。

※今号でこのシリーズは終わりとします。感想をお寄せくださいましたスタッフ・ヘルパーの皆様ありがとうございました。

11 月 11 日障害者部会報告

Zoom 参加・1 人 欠席者・1 人

① オカリナ演奏会について

オカリナ演奏者に演奏会を実施する。

演奏会日時 12 月 9 日(火): 場所: 文福事務所: 13 時 30 分から開始。

(演奏者 2 人) 演奏会後、演奏者を交えて皆で茶話会をする。

② オカリナ演奏会のチラシについて

ポスティングも町内の回覧板で回すのもしない事にした。

オカリナ演奏会のポスターを文福の出入口に貼った。

チラシは黄色の紙に印刷する。

チラシは文福事務所近辺の個人経営されているお店に貼らせてもらう。

③ 障害者部会員を増やすためのリーフレット文について

文福全体の事を書くとパンフレットになってしまって、障害者部会員を増やしたいという事に焦点を絞り作成し直し、また皆で検討して仕上げる事になった。

出来上がったリーフレットは、文福のパンフレットと一緒に地区センター等に配る。

次回の部会は 12 月 2 日(火) 14 時

報告者・中村





Penko のおひとりさま 珍道中!! (Part74)

ここ数か月前に近所を散歩していたら、ガレージの中にいる柴犬と出会いました。

最近では家の外で番犬している犬を見かけるのが少なくなりました。

はじめは、吠えて興奮していましたが、何度かふれあううちに慣れてきて私の足や車いすをなめてくるようになりました。

なまえは、すずちゃん。6歳の女の子です。

そのうち家の方も出てこられるようになり、仲良くさせてもらっています。すずちゃんは家人が出てこられるとすり寄って離しません。

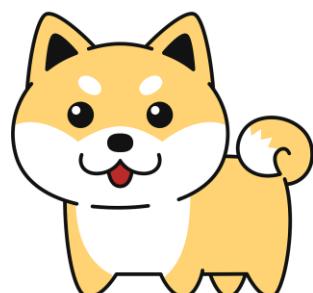
実家にも犬はいますが、なかなか会えないので、悪天候の時以外は会いに行っています。もちろん夜は家の中に入っています。

元々は柴犬が好きなので、ふれあえるのがとてもうれしいです。

これから雪が降ると、会うのが難しくなるので元気で過ごしてくれたらいなと思います。

実家でも何度か犬はいましたが、外飼いだったためほとんどふれあうことができず、現在は室内犬なので帰ってきたときは遊んでいます。最近では背中合わせでそばに来るようになって、へそ天までするんです。

犬とふれあって元気をもらっています。



ありがとうコーナー

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



今年もよろしくお願ひします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

皆さん、新年明けましておめでとうございます。
2026年は、皆さんにとって幸多き年になります
ように願っています。

さて、昨年もいろいろな出来事がありましたが、
やはり、地球温暖化の影響で猛暑が続き、そのせいでクマの食べる木の実が、凶作や不作になって餌を求めて私達の所まで来て、殺されていました。確かに人間を襲うので危険なのですが、私はクマのニュースを聞く度に複雑な気持ちになります。可哀そうに、クマだって食べ物があれば、山の中で平凡に暮らしていくのにと思うのです。今年の秋は、木の実が豊作になるように祈るばかりです。そして、災害が起らぬることを祈って新年を迎えました。

(アパッチ) より。

* 2025 年度新規会員・継続会員 *

水野 渡さま 加藤 アイコさま 青塚 和美さま

* カンパ* 小倉 利丸さま

* いただきもの* 三井 真知子さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 312

編集人：特定非営利活動法人 文福

ぶんぷく
文福

〒930-0138 富山市吳羽町 1216 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。